

阿智村教育委員会 平成 30 年 5 月定例会会議録

- 会議日時 平成 30 年 5 月 10 日(木) 午後 2 時 30 分
- 会議場所 阿智村保健センター集会室
- 出席者 教育長：黒柳紀春 教育長職務代理：塚田紀昭
委員：熊谷紀夫 委員：原彰彦 委員：熊谷 歩

【事務局】

教育次長：熊谷修一（全体進行）（途中退席）
保育園長：原 満 公民館兼社会教育係長：石原哲成
子育て支援室長：島岡佐喜子 学校教育係：村田浩一
学校教育専門主事：羽生武彦
（欠席者 共同調理場係長：佐藤卓郎）

1 教育長あいさつ

(1) 共同調理場異物混入の件について

5 月 7 日、給食時に阿智中学校 2 年男子生徒の給食に昆虫の幼虫が混入する事故が起きた。直ちに本人と保護者にお詫びをするとともに、翌日、学活の時間において学級担任を通じて全校生徒にお詫びを行った。

(2) 村支援員の配置について

現在、村費支援員が 24 名配置されている。ここ 2 年間で倍増した。従前は支援を必要とする子ども中心の配置であったが、近年は若駒アカデミーの講師や理科支援員、音楽支援員、学校司書など、学力や体力等について「伸びる力を伸ばす」観点も取り入れた両面作戦で対応している。

長野県はかつて「教育県」といわれたが現在、学力・体力面において全国的に特筆すべき成果が出ているわけではない。大切なことは、現実にある課題に対して正面から向き合い、柔軟に対応していく姿勢が必要である。何十年経っても変わらない課題については、方法論を含めて発想の転換がないといけない。

(3) 学習環境整備について

長野市が市内全小中学校に 50 億円をかけて冷房を完備すると新聞に掲載されていた。県でも公立学校への洋式トイレの設置を推進している。阿智村でも今後さらに学習環境の整備に努めていきたい。

2 協議事項

(1) 学校評議員の任命について（清内路小学校分）

学校教育係長の説明

・承認

(2) 文化イベント補助金交付要綱の一部改正について

社会教育・公民館係長の説明

(塚田委員)

これは公民館活動に関する要綱か、村全体か。

(社会教育・公民館係長)

村全体になり、窓口が公民館です。

(原委員)

この改正により、今まで許されていたものが許されなくなるというイベントは出てくるか。

(社会教育・公民館係長)

今のところ、営利を目的として開催しているイベントはほとんどないので、できなくなるものはないと考える。

(教育長)

一昨日法規審査委員会にかけており、教育委員会で承認されれば、総務常任委員会において審議していただくことになる。

(塚田委員)

全部の事業が2ヵ月前で大丈夫か。

(社会教育・公民館係長)

申請から審査委員会を経て活動を開始することになる。チケットやポスター等の配布ということになると、2ヵ月くらいの期間は必要だと考える。

(教育長)

村の税金を補助金として受けるわけなので計画的に行ってほしい。大きなイベントになれば半年以上前に計画を立てる必要がある。2ヵ月前に申請ではなく、2ヵ月前までに申請を行うということである。

(塚田委員)

この補助率は決まっているのか。

(公民館係長)

補助金は事業費の1/2以内とし、予算の範囲内で村長が別に定める額とする、となっている。

・承認

(3) 智里西保育園改築工事について

保育園長の説明

・昨日設計監理の入札を行い、白子建築設計事務所が3,510千円で落札した。

(塚田委員)

工事完了は来年2月末までということか。

(保育園長)

2月末までに完了するように進めている。

(塚田委員)

入札は何社あったのか。

(保育園長)

4社あった。

(4) 学習支援員の活用実施計画について

学校教育専門主事の説明

(熊谷紀夫委員)

これまで活用は各学校に任されていたのか。

(学習教育専門主事)

村教委としてきちんと把握していなかった。意見交換の中で、狙いを明確にしてほしいということと学習への意欲を大事に各学校で検討していただきたいということを申し上げた。

(熊谷紀夫委員)

対象学年が学校によって違うが。

(学校教育専門主事)

昨年までの経緯があって、教育委員会としてはできるだけ高学年で実施してほしいという気持ちはあるが、下校時刻の問題などがあるので一年かけてさらに検討していきたいと考えている。

(原委員)

児童の様子で気になることがあったら担任と情報交換を行うということが大事だと思う。

(塚田委員)

学習支援員の活用は良いが、対象者はどうなっているのか。

(学校教育専門主事)

第一小学校については5、6年生の希望者、第二小・第三小は1、2年生全員です。

(塚田委員)

今までは主に学習につまずいている子供を対象に行ってきた。

(学校教育専門主事)

教頭との意見交換のなかでは、そこに特化しない。人数も多くないので充分つまずきに対応できる。教員もできるだけ顔を出すことで連携できると考える。

(塚田委員)

第一小以外は「全員対象」ということであれば、通常の授業が単に1時間余分に増えるだけということになる。工夫はできないのか。

(学校教育専門主事)

教育委員会として今後現場の実態をしっかりと把握したいと考えている。

(原委員)

学校の先生と支援員で教え方に違いが出てくることもある。そういう点はどのように配慮したらよいか。担任との連絡を密にしてもらいたい。

(5) 後援申請について

- ①第 61 回長野県母親大会（同 実行委員会）
- ②第 5 回つながる福島 Jr ユースキャンプ in 阿智（同 実行委員会）
- ③飯田子ども劇場各種鑑賞会（飯田子供劇場）
 - ・ 3 件ともに承認

(6) その他

3 報告・連絡事項

(1) 各係からの報告

- ・ふるさと学習カリキュラム作成委員会研究計画について（学校教育係）
（原委員）

遠足など行事を含めて総合的に考えてみたらどうか。

- ・若駒アカデミーの開講について（学校教育係）
- ・小規模校学校課題研究委員会研究計画について（学校教育係）
- ・海外研修事業について（公民館係）

8名の申し込みがあった。このままでは10人に達しないので中止にしなければならぬ。さらに呼びかけをしたい。

- ・「あおいの桜」枯れ枝除去について（文化財係）
今月中に枯れ枝の除去を行う。
- ・飯伊市町村教育委員会連絡協議会総会について
- ・西部地区教育委員会連絡協議会総会について

(2) 6月定例教育委員会の開催日について

6月11日（月）午後1時30分：保健センター集会室

(3) その他

（閉会 午後4時00分）

教育委員 署名